



岡山産業保健推進連絡連絡所

《おかやまさんぽメールマガジン》 第63号 2013年5月1日(水)



## I N D E X

### 1 相談員便り

『昨今の労働衛生行政について』 産業医学相談員 道明道弘

### 2 連絡事務所からのお知らせ(相談・研修・行事案内)

\*メンタル集中研修会のご案内

\*平成25年度 産業医研修会のご案内

\*平成25年度研修会の予定

### 3 トピックス

\*平成25年度メンタルヘルス対策支援センター事業について

\*事例検討を中心とした研修会「アドバンストコース」(有料)の実施について

### 4 編集後記

\*「職場における熱中症対策」をご存知ですか?

---

### 1 相談員便り

---

『昨今の労働衛生行政について』 産業医学相談員 道明道弘

これまで、岡山県の労働衛生活動は、医師会や労働局、岡山産業保健推進センター、岡山大学や川崎医大の大学関係者、衛生管理者等が一体となって、自他ともに認める全国でも有数の業績を上げてきました。

ところが、最近の地産保事業の都道府県集約化、都道府県産業保健推進センターの縮減化等々の労働衛生行政に関する激変に対して、小生が委員（中四国代表）をしている日本医師会産業保健委員会においても危機感を持ち、委員会として労働者の健康を守るのは医師会を中心としてやっていくしかないとして厚労省に対しても強く発言してきました。

その結果、一昨年厚労省において「産業保健への支援の在り方に関する検討会」が計4回行われました。前述のごとく、この検討会の委員8名の中に小生も含め5名が日医産業保健委員会委員から選出されました。この時点で厚労省が日医の意見を重んじていたことは、このことから事実と思われま

この「産業保健への支援の在り方に関する検討会」において、結論的に、

- ①推進センター、メンタル支援センター及び地産保の三つの事業はよく連携して統括的に運営される必要がある。
- ②将来的には、行政のバックアップのもと、地域で労働衛生活動を展開している機関や団体も含め連携しつつ、都道府県単位で、三つの事業を総合調整する機能があり、その下に、各機能が有機的に結合しながらサービスが提供できる体制が必要である。

とされました。

この度、岡山産業保健推進センターも廃止されて連絡事務所となりました。この連絡事務所の推進員には労働局からのいわゆる「天下り」は禁止？されています。しかし、労働衛生の要である労働局とも無関係、日医認定産業医の本拠地である医師会とも無関係な人に労働衛生行政が分かるはずもありません。岡山県以前に連絡事務所になった県の産業保健の衰退は目を覆うばかりです。また、連絡事務所になった県を支援する推進センターもいい加減な基準で選ばれているため、とてもではないが支援など出来ない状況です。

また、前述のとおり、検討会において三つのセンターの統括運営を始めるにしても、いきなり開始では無理でしょう。一度、連絡事務所にされた県ではアンケート等による数字以上にダメージは大きく、医師会の産業保健へのモチベーションも極度に落ちています。あらたに事業立ち上げると同様のエネルギーが必要です。行政

には、この道筋を早くつけてほしいと思っています。

このような状況から、今年度の日医産業保健委員会における横倉会長からの会長諮問は、「地域産業保健センター事業、産業保健推進センター事業並びにメンタルヘルス対策支援センター事業の一括運営」について、でした。

さて、この三つのセンターの統括運営に向けて、厚労省は各都道府県に対して、「産業保健・メンタルヘルス対策総合推進協議会」を設置するように7・24付けで要請しました。この協議会には、構成員として、産業保健推進センター（連絡事務所が設置されている県は連絡事務所）、地域産業保健センター、メンタルヘルス対策支援センター、産業医の団体（都道府県医師会等）、事業者の団体（団体の主たる目的の一つが労働災害防止である団体）、都道府県労働局、上記の他、必要に応じて、労使団体、産業保健関係機関、関係行政機関等で出来ています。

この「産業保健・メンタルヘルス対策総合推進協議会」が、いわゆる三つのセンターの統括運営に関与していて、いずれこの協議会が3センターの統括的運営の要となるように思います。

先日3月31日に日本医師会で行われた第128回定例代議員会において、東京都医師会近藤代議員から「地域産業保健センターの今後について」質問され、主担当の日医道永常任理事は、「地域産業保健センター事業は単年度の委託事業であることや近年の制度変更のために安定的・継続的な運営が困難な状況にある。現場の意見を踏まえて、地域産業保健センター、産業保健推進センター、メンタルヘルス対策支援センターの一括運営について本会の産業保健委員会で審議し、中間答申をまとめた。3事業を一括運営することにより、現在31ヶ所が連絡事務所となっている産業保健推進センターは47都道府県に復活することになる。労働者健康福祉機構の事業として行うことで安定的、継続的な事業となり、単年度の委託事業のために年度初めの運営に支障が生じたり、毎年企画競争入札に応募することがなくなる。3つの事業を一体的にやることで予算の増額も見込まれる。煩雑な経理事務を労働者健康福祉機構が行うため、会計検査院の調査は機構が受けることになり、医師会は本来業務に専念する形で協力できるようになる。国でも産業保健を支援する事業の在り方に関する検討会を開催し、産業保健事業の一括運営について検討する予定がある。長年、地域産業保健事業に取り組んできた会員の意見が反映できるよう行政に働きかけていく。」と述べられました。

小生も、日医産業保健委員会委員（中四国代表）として、3センターの一括運営が

円滑にいくように努力する所存ですので、ご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

■道明道弘相談員の研修会■

日 時： 5/30（木） 14：00～16：00

研修テーマ： 職域のメンタルヘルス対策とコーチングについて

内 容： 職場のメンタルヘルス対策とコーチングについて簡単に説明

日 時： 6/20（木） 14：00～16：00

研修テーマ： 過重労働・メンタルヘルス対策について

内 容： 過重労働・メンタルヘルス対策について分かりやすく簡単に説明

★会場は『ピュアリティまきび』（岡山市北区下石井 2-6-41）、受講は無料です。

お申し込みはこちら⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

---

2 連絡事務所からのお知らせ（相談・研修・行事案内）

---

■◇■ メンタル集中研修会のご案内 ■◇■

・・・三菱化学株式会社の産業医2名、安西法律事務所弁護士を招いてメンタル対応の実際についての講義や判例をもとにしたディスカッションを行います。どなたでもご参加いただけます。

日 時： 7月20日（土） 13：00～18：15

単 位： 生涯研修更新1単位、実地1単位、専門3単位

受 講 料： 10,000円

（資料代としてNPO法人が管理します。受付時にお支払い下さい。）

場 所： 岡山第一生命ビルディング3階貸会議室（岡山市北区下石井 2-1-3）

定 員： 70名

メンタル集中研修会の参加お申込はこちらから

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

-----  
■◇■ 平成 25 年度 産業医研修会のご案内 ■◇■

産業医研修会の情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

岡山労災病院における研修会は、実際に産業保健現場で実務を行う機会のある方を支援するための事例検討を中心とした『アドバンストコース』として実施します。職種は問いませんが、特に人事労務担当者の方の参加は歓迎します。

対 象：「産業保健の実務に携わっており」

「岡山労災病院における研修会を 2 回以上受講したことがある」方

【※】受講を希望される方は、必ず ↓ こちらをご確認ください。【※】

<http://www.okayama-sanpo.jp/pdf/01-ke-isi.pdf>

受 講 料： 3,000 円

(資料代として NPO 法人が管理します。受付時にお支払い下さい。)

定 員： 20 名

◆平成 25 年 5 月 9 日 (木) 19:00~21:00

演 題：事例から学ぶ産業保健実務 1、グループワークによる事例検討 1

講 師：岩瀬敏秀 (岡山大学大学院 地域医療支援センター 助教)

高尾総司 (岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)

岸本卓巳 (岡山労災病院 副院長)

単 位：生涯研修 専門研修 1 単位、実地 1 単位

場 所：岡山労災病院 3 階会議室

◆平成 25 年 6 月 13 日 (木) 19:00~21:00

演 題：事例から学ぶ産業保健実務 2、グループワークによる事例検討 2

講 師：岩瀬敏秀 (岡山大学大学院 地域医療支援センター 助教)

高尾総司 (岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)

岸本卓巳（岡山労災病院 副院長）

単 位：生涯研修 専門研修 1 単位、実地 1 単位

場 所：岡山労災看護専門学校 1 階会議室(岡山労災病院敷地内)

◆平成 25 年 7 月 18 日（木） 19：00～21：00

演 題：事例から学ぶ産業保健実務 3、グループワークによる事例検討 3

講 師：井家克彦（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野）

高尾総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師）

岸本卓巳（岡山労災病院 副院長）

単 位：生涯研修 専門研修 1 単位、実地 1 単位

場 所：岡山労災看護専門学校 1 階会議室(岡山労災病院敷地内)

メールフォームでのお申込は

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/form-sangyoui/form-sangyoui.html>

F A X でのお申込は

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/pdf/mousikomi/sangyouifax.pdf>

-----  
■ 岡山産業保健推進連絡事務所主催セミナー・研修会 ■

場 所： ピュアリティまきび 会議室（岡山市北区下石井 2-6-41）

受 講 料： 無料

※ お車でお越しの際は、ピュアリティまきびの駐車場をご利用ください。

駐車場は無料をご利用いただけます。駐車券は、お帰りの際にフロントまでお持ちください。但し、駐車場が満車の場合にご利用いただけません。ご注意ください。

研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

【健康管理についての研修会】

日 時： 5/28（火） 14：00～16：00

研修テーマ： 熱中症予防

内 容： 熱中症による健康危機を防ぐために  
講 師： 福岡相談員

日 時： 6/5（水）14：30～16：00  
研修テーマ： 健康診断後の事後措置について  
内 容： 健康診断後の事後措置についておさらいします  
講 師： 成松相談員

日 時： 7/8（月）14：00～16：00  
研修テーマ： アルコールの問題  
内 容： アルコール依存症やアルコールによる身体疾患など  
講 師： 勝田相談員

日 時： 8/2（金）14：00～16：00  
研修テーマ： 「けいれん」する疾患  
内 容： てんかん及び鑑別疾患  
講 師： 勝田相談員

---

【メンタルヘルスについての研修会】

日 時： 5/22（水）14：00～16：00  
研修テーマ： 心の健康問題による休職からの復職支援  
内 容： いかによれば復職が順調に進むか検討する  
講 師： 大月相談員

日 時： 5/30（木）14：00～16：00  
研修テーマ： 職域のメンタルヘルス対策とコーチングについて  
内 容： 職場のメンタルヘルス対策とコーチングについて簡単に説明  
講 師： 道明相談員

日 時： 6/3（月）14：00～16：00  
研修テーマ： 新入社員に伝えるメンタルヘルス  
内 容： 新入社員に伝えると良いと思われる基本的なメンタル知識  
講 師： 勝田相談員

日 時： 6/11（火）13：30～15：00

研修テーマ：メンタルヘルスに関する病気について  
内 容：メンタルヘルスに関する病気について、事例検討  
講 師：山下相談員

日 時：6/20（木）14：00～16：00  
研修テーマ：過重労働・メンタルヘルス対策について  
内 容：過重労働・メンタルヘルス対策について分かりやすく簡単に説明  
講 師：道明相談員

日 時：7/24（水）14：00～16：00  
研修テーマ：不安障害  
内 容：不安障害の理解と対応について  
講 師：大月相談員

日 時：8/29（木）14：00～16：00  
研修テーマ：職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅠ  
内 容：職場のメンタルヘルス  
講 師：武田相談員

日 時：9/4（水）14：30～16：00  
研修テーマ：過重労働対策について  
内 容：過重労働対策について、おさらいします  
講 師：成松相談員

日 時：9/19（木）14：00～16：00  
研修テーマ：職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅡ  
内 容：カウンセリング（傾聴技法）  
講 師：武田相談員

---

【産業看護職の方向けの研修会】

日 時：6/25（火）14：00～16：00  
研修テーマ：産業看護の定義・役割・職務  
内 容：産業保健、産業看護の基本  
講 師：福岡相談員

日 時： 8/6（火） 14：00～16：00

研修テーマ： 保健指導の基本

内 容： 保健指導に必要な基本

講 師： 福岡相談員

-----  
産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

- ▼研修会の受付はピュアリティまきび会議室前で行います。直接、お越し下さい。
- ▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。  
変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。
- ▼当連絡事務所の研修会、貸出教材、メールマガジン、ホームページの内容など各種事業に関する御意見、御要望を下記メールアドレスに E メールにて御遠慮なくお願いします。

E-mail : [info@okayama-sanpo.jp](mailto:info@okayama-sanpo.jp)

---

### 3 トピックス

---

#### ■平成25年度メンタルヘルス対策支援センター事業について■

当事務所が厚生労働省の委託事業として実施してきた「メンタルヘルス対策支援センター事業」を、平成25年度も引き続き実施することになりました。

産業カウンセラーの資格を持った「促進員」が、事業場のメンタルヘルス対策の取り組みを無料で支援いたします。

詳細につきましては、決まり次第ホームページにてお知らせいたしますので、もうしばらくお待ちください。

詳細・お申込みはこちらから

⇒<http://www.okayama-sanpo.jp/okayama-mental.html>

---

#### ■事例検討を中心とした研修会「アドバンストコース」（有料）の実施について■

実際に産業保健現場で実務を行う機会のある方を支援するための事例検討を中心とした研修会です。職種は問いませんが、特に人事労務担当者の方の参加は歓迎します。

会場： 岡山労災病院（岡山県岡山市南区築港緑町 1-10-25）

時間： 19：00～21：00（5/9、6/13、7/18…1度のみでも参加可能）

対象： 「産業保健の実務に携わっており」、「岡山労災病院における研修会を2回以上受講したことがある」方

備考： 内容はメンタル対応、健康診断事後措置、過重労働等の事例検討など。資料代として3000円頂戴します。事例検討を行うため、対象者数を限定させていただきます。（定員20名）

【※】受講を希望される方は、必ず ↓ こちらをご確認ください。【※】

<http://www.okayama-sanpo.jp/pdf/01-ke-zen.pdf>

研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

---

#### 4 編集後記

---

■「職場における熱中症対策」をご存知ですか？■

- 1：WBGT 値の低減に努めていますか？
- 2：熱への順化期間を設けていますか？
- 3：自覚症状の有無に関わらず水・塩分を摂っていますか？
- 4：透湿性・通気性の良い服装を着用していますか？
- 5：睡眠不足・体調不良ではありませんか？

高温多湿な環境では熱中症が多発します。職場の熱中症予防に努めましょう！

日 時： 5/28（火）14：00～16：00

研修テーマ： 熱中症予防

内 容： 熱中症による健康危機を防ぐために

講 師： 福岡相談員

詳 細： <http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.htm>

研修会に参加できない方からの【相談・質問】も受け付けております。

メールアドレスまたは FAX 番号があれば、返答いたしますので匿名を希望される方はメールフォームか FAX をご利用ください。

メールフォームはこちら

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/form-soudan/form-soudan.html>

FAX 用紙はこちら

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/pdf/mousikomi/sangyouhokensoudanfax.pdf>

-----

次回の第 64 号は

6 月 3 日（月）の配信予定です。